

(伊良尾山遠望)

# 萩ジオパーク推進だより

2019年4月25日 No. 50

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510  
TEL : 0838-21-7765 FAX : 0838-25-7767  
e-mail : geo@cityhagi.lg.jp  
HP : <http://www.cityhagi.lg.jp/site/hagigeo/>

発行 : 萩ジオパーク推進協議会  
事務局 : 萩市ジオパーク推進課  
Facebook: <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

## ビジターセンターがリニューアルしました

萩・明倫学舎内にある萩ジオパーク・ビジターセンターの展示が、3月にリニューアルしました。これまでの展示パネルの内容を一新し、萩ジオパークの“楽しみ方”をより具体的に伝える内容になりました。

萩ジオパークについての概要説明や体験プログラム、行事の情報のほか、「眺め方」「味わい方」「歩き方」の3つの楽しみ方を提案するコーナーが設けられています。それぞれ、景色から地球の記憶をひも解く、萩の食べ物を大地の特徴と合わせて味わう、大地と人のつながりに注目して町歩きをしてみるなど、ジオパーク的な視点の楽しみ方を提案しています。解説パネルと合わせて、岩石が大地の歴史を語っていたり、小道具を使ったハンズオン展示があったりと、来館者に体験を通して理解してもらえるような工夫もしてあります。これからの気候の良い季節、新しくなったビジターセンターを起点に、ジオパークらしい楽しみ方で萩を味わってみてはいかがでしょうか。



(内容の一新しい展示パネル)

## 事務局に着任しました。よろしくお願いいたします。

初めまして、4月から事務局長を務めております阿武宏（あんのひろし）と申します。3月までは、主として萩市にある世界遺産に係る仕事をしておりました。ジオパークも世界遺産も同じユネスコのプログラムですが、認定を維持していくために必要なことは大きく異なっている、と感じています。萩にある世界遺産は人為的に作られたものですので、その価値を表している「もの」の保全を第一に考えます。ジオパークは人々の営みを住んでいる地域の地質や地形から理解してその視点で持続的に「活動」していくこと、だと思います。

活動を持続的に進めていくためには、まずは住民の皆様にご理解いただき活動の輪を広げていくことが重要です。皆様、今後ともジオパーク活動へのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

萩ジオパーク推進協議会事務局長（萩市観光政策部次長兼ジオパーク推進課長） 阿武 宏

この度の異動によりジオパーク推進課配属となりました、菊池太希（きくちたいき）です。出身は山口県周南市で、周南地域のコンビナートを見ながら育ちました。幼少期より、大地、鉱物といったものに興味があるため、これからどのような発見があるか、本当に楽しみにしています。また、萩市のこと、そしてジオパークのこともまだまだ知らないことがいっぱいあるので、しっかりと勉強し皆様のお力になれば…と思っています。よろしくお願ひいたしました。

事務局員 菊池 太希

## お知らせ

萩ジオパーク推進協議会定期総会 5月17日(金) 13:00~14:00 場所: 萩市役所大会議室

内容: 平成30年度の事業・決算報告、平成31年度の事業・予算、規約改正(組織改編)など

主催: 萩ジオパーク推進協議会 問合せ・傍聴希望は、前日までに事務局へ(0838-21-7765)



## 萩博物館「描かれた萩の大地」展紹介

3/16(土)～5/12(日)

～まぼろしの長門峡がよみがえる！～ 開催中！

「描かれた萩の大地」展では、旧川上村の高瀬から阿武川に沿って、江戸時代からある温泉場・湯の瀬までの景観を描いた絵巻物を展示しています。この絵巻物は、江戸時代後期の弘化年間（1844～47）頃のものとして伝えられており、刀を差した侍たちが阿武川を踏査し、その景観をスケッチする様子が描かれています。阿武川ダム建設で水没した高瀬・犬ヶ瀬・魚取郷や、現在も見られる重屏岩・切籠切窓・湯の瀬など、幕末期の長門峡の景観がよみがえります。侍たちが岩場をよじ登る様子も描かれ、まさに江戸時代のロッククライミングを見るようです。

また、長門峡の金剛溪（こんごうけい）にある猿溪瀑布（えんけいばくふ）は、幅25mもある山口県最大級の滝ですが、今では容易に行くことができません。この滝を描いた萩出身の日本画家・松林桂月の大作も展示しています。

上：「川上探勝古図巻」（部分、山口県立山口博物館蔵）

下：松林桂月「長門峡（猿溪瀑布）」（個人蔵、山口県立美術館寄託）



### 展示関連イベント 長門峡探訪会に参加して

私は山口大学地球科学コースの学生として、今回の探訪会では長門峡ガイドのお手伝いをさせていただきました。当日は天気にも恵まれて絶好の散策日和となり、且つ多くの方々が今回の長門峡探訪会に参加されて、非常に盛り上がった楽しいイベントになりました。私は長門峡の地質についてはある程度理解しているつもりでしたが、今回の散策を通じて長門峡の地質以外のことも知ることができたので、自分にとっても非常に有意義な一日となりました。長門峡は地質学的に価値があるだけでなく、多様な動植物が生息する場所でもあり、それゆえに景色の美しい場所なのだという点を改めて感じました。いつもは大学で勉強したり研究したりの忙しい毎日を送っていますが、長門峡を散策することで普段にはない良い刺激を得ることができたように思います。また、機会があれば是非探訪会に参加したいと思います。

（山口大学創成科学研究科 田村友識）



①



②



③



④

- ①：洗心橋で萩三角州の始まりを見る
- ②：説明を受けながら
- ③：講師の元山口大学教授 金折先生を先頭に
- ④：阿武川の流れが造った溪谷



## 台湾地質公園学会の皆さんが萩ジオパークを訪問

4月1日（月）から2日（火）にかけて、台湾地質公園学会の訪問団総勢29名の皆さんが萩ジオパークの視察に来られました。これは、当該学会の山口県への訪問で、Mine 秋吉台ジオパークとの交流、そして新しく日本ジオパークネットワークに加盟した萩ジオパークとの新たな交流を目的に来訪されました。

台湾地質公園…台湾版ジオパークのようなもの。現在、台湾国内に9つの地質公園がある。台湾は中国との政治的な関係上、世界ジオパークへの加盟ができない状況にある。台湾地質公園学会は、台湾の地質研究者や9つの地質公園の事務局等で構成される学会。

初日は、萩観光を終えた後、萩ジオパーク推進協議会との意見交換会が行われました。白井専門員から萩ジオパークの概要とジオパーク活動の報告を行い、台湾地質公園学会からも概要や活動理念などをご紹介いただきました。意見交換会では、「学術的価値の調査・研究はどのように行っているのか?」、「ガイド人材の育成手法やその年齢層」など多岐にわたる熱心な質問がありました。

2日目は、笠山をフィールドに、笠山ジオの会や萩ジオガイドが現在実施している、火山実験などの教育プログラムや、椿群生林を楽しく巡るジオツアーを体験してもらいました。訪問団の皆さんは時に楽しくプログラムに参加されたり、時に熱心に質問されたり、お互いに良い刺激となり、とても有意義なものであったと思います。

この国際的な交流をきっかけに、萩ジオパークは、もっともっと“広がる”“つながる”ネットワークづくりを行っていききたいと思います。



(廖源隆 (リャオエンロン) 団長あいさつ)



(藤道会長による歓迎あいさつ)



(火山実験では皆さん楽しそうでした)

## ジオ・カメラ散歩



萩市新規採用職員研修 (4/17)  
萩ジオプランナーの協力で実施。  
この黒色の石は城下町の礎となった石。  
その証拠は?

弥富探訪会 (3/16)  
萩博物館「描かれた萩の大地」展  
関連行事として、蕎麦打ち体験と  
龍が通った道を探訪



# 須佐ホルンフェルスが絶品カレーに！

萩ジオパークの見どころの一つ「須佐ホルンフェルス」をイメージしたメニュー「レアホルンフェルス@イカ墨美人カレー」ができました。萩市観光協会の企画で開発され、剣先イカ専門店「口福の馳走屋梅乃葉」(萩市須佐)で提供されています。アツアツのスキレット(鉄鍋)で蒸し焼きにされた色とりどりの野菜とぷりっぷりの剣先イカに、ココナッツ風味のグリーンカレーをベースにしたイカ墨カレーソースを自分でかけて完成させます。地層がマグマの熱によって見た目も性質も変化した岩石、ホルンフェルス表現しています。見た目も味も抜群！お試しあれ！ (1日5食限定)

【提供店：口福の馳走屋 梅乃葉 (08387-6-2354)】



## わっきー教授のつぶやき ～一言解説～

今回は、前回に続いて「須佐みこと君」が主役です。彼は、自分が“熱で焼かれた”ホルンフェルスだから、石灰岩で弱っちい半田くんとは違うと主張しています。でも、指月先生や秋吉おじさんからの説明で、納得したのか否か？半田くんの代わりに、笠山ちゃんの隣の席に無理矢理着こうとしています。熱で焼かれたんじゃなくて、恋の熱にうかされてますね。「代理席(大理石)」なんて爺さんみたいなダジャレを言っているようでは、チョコちゃんに怒られますよね～。



## かんぱね!半田くん

第5話 原作：わっきー教授 画：白玉だんご



## 5月の予定

●地球と遊ぼう!笠山・自然体験ガイドツアー 5月12日(日)、19日(日)、26日(日)、10:00～

12:00 集合場所：笠山虎ヶ崎「つばきの館」前 内容：五感を使って「笠山」を楽しむツアー 定員10名(最少催行数5名) 参加費：大人(高校生以上)1,000円、小中学生500円 主催：萩ジオパーク推進協議会 申込・問合せ：萩ジオパーク推進協議会事務局(萩市ジオパーク推進課)(0838-21-7765)

●萩ジオカフェ 5月16日(木) 18:30～20:00 会場：萩・明倫学舎 内容：全国のジオパークとテレビ電話を介して、つながります。参加費：300円、主催：萩ジオパーク推進協議会 申込：前日までに萩ジオパーク推進協議会事務局(0838-21-7765) ※つながるジオパークは秘密です。

○geoとも(萩ジオ友の会)定例会「ジオ探訪」5月18日(土) 10:00～16:00 場所：むつみから福賀(宇生賀)方面 参加費：実費 主催：geoとも 申込：geoとも 西嶋(0838-26-6123) ※萩ジオマスターの有志による自主学習会

○史都萩を愛する会例会 5月25日(土) 14:00～15:30 場所：萩博物館 演題：「記録に残された萩の大地震と震災～過去から学ぶ～」 講師：金折裕司(元山口大学教授) 参加費：無料 主催：史都萩を愛する会 問合せ：萩博物館(0838-25-6447)

※ ●の行事に参加される場合は、必ず萩ジオパーク推進協議会事務局(0838-21-7765)までご連絡ください。